

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立北市民健康文化センター(LCA国際小学校北の丘センター)
指定管理者名	北市民健康文化センター運営共同企業体(公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社フクシ・エンタープライズ)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため(相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	所在地 緑区下九沢2071-1・敷地面積 9076㎡・建築面積4,454㎡・延床面積9,069㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上3階) 1階 プール、展示コーナー 2階 障害者プール、娯楽室、談話室、多目的会議室、講習室 3階 浴室 大広間
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	370,452	343,674	236,404	82,526			
利用料金合計(円)	62,889,129	70,195,112	46,895,672	18,628,394			

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	<p>指標1、指標2ともに、昨年度より実績値が大幅に減少したが、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設休所や利用定員の制限等、施設の責めによらない理由によるものである。</p> <p>そのため、実際の開所日数や定員数等を勘案した目標値で評価した。指標1では、目標値に開所率60.5%と入場率34.9%をかけた場合、目標値は43,662となり、達成率は112.7%となった。指標2では、目標値に実施率39.5%と入場率50.0%をかけた場合、目標値は6,323となり、達成率は55.7%となった。</p> <p>コロナ禍においても、整理券を用いた入場人員の制限や、ロビーにおける社会的距離を確保した人員誘導等の感染症対策を講じ、利用者の安全性に配慮した施設運営や事業実施に取り組んだことを評価し、B評価とする。</p> <p>次年度以降の目標値については、新型コロナウイルス感染症による施設運営への影響が未だ不明瞭であり、変更後の目標値の妥当性を図ることが困難なことから、目標値の変更はしないものとする。</p>

指標1

指標名(単位)	プールの利用人数(人)
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進が達成されるため、成果指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	201,000	203,000	205,000	207,000	209,000	211,000	213,000
実績値(単位)	220,437	176,450	137,316	49,218			
達成度(%)	109.7%	86.9%	67.0%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%

指標2							
指標名(単位)	自主事業の参加人数(人)						
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターの諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。						
項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	19,900	20,100	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000
実績値(単位)	51,630	51,596	29,706	3,524			
達成度(%)	259.4%	256.7%	92.8%	11.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設休所により、当初の計画どおりに事業が実施できない期間が長期に渡っていた中、定員の半数以下で実施した事業としては、一定の参加人数の確保できている。小学生を対象としたプール事業等、募集定員を大幅に上回る応募があった事業も多々あり、魅力的な自主事業の実施がなされているためA評価とする。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
健康保持・増進を推進する事業	8月から1月	プール教室や体操教室等の健康増進等に関する事業	○
文化の振興・福祉の充実を推進する事業	11、12月	多肉植物の寄せ植え、着物着付け教室(文化の振興等に関する事業)開催	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>昨年度から総合的な満足度（「満足」と「やや満足」の合計）が3.2ポイント減少し、目標値を達成することができなかったが、コロナ禍での施設運営を評価する声が多かった点を考慮し、A評価とする。また、「未回答」及び「どちらともいえない」の回答が増加しており、次回実施時には設問やレイアウトの見直し等、利用者が回答しやすい工夫が必要だと思われる。</p> <p>回答件数については、前年度に引き続き高水準を確保しており、回答者へのキャンディやティッシュの配布及び利用者に対する働きかけの成果が表れているものとする。</p>

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施(693件)(令和2年7月～10月)
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（％）	90.1	89.9	90.3	87.1			
達成度（％）	100.1%	99.9%	100.3%	96.8%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	文化事業開催時	参加教室に関してのアンケートを実施。（文化教室のみ）教室終了時に回収。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	<p>本体事業収支及び全体収支が黒字であり、指定管理者の団体本体の経営状況としても、特段の問題はなく安定しているため、S評価とする。</p>

施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入（a）	221,032	225,682	229,346
指定管理料	160,778	176,625	173,685
利用料金収入	58,290	46,895	18,628
その他の収入	1,964	2,162	37,033
支出（b）	243,248	226,271	197,886
人件費	121,708	91,352	89,020
本社管理経費	5,072	5,474	5,831
その他の支出	116,468	129,445	103,035
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	-22,216	-589	31,460
自主事業収入（d）	16,331	12,463	2,480
自主事業支出（e）	8,716	8,212	3,616
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	7,615	4,251	-1,136
全体収支 【(c)+(f)】	-14,601	3,662	30,324
備考			

団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和3年7月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防による施設休所や利用制限の影響が大きく、利用者数は大幅な減少となった。しかし、感染症対策を行った上で例年と違った方法で運営をしていく中では、大きな混乱はなく運営することができたと感じている。満足度調査でも、近隣他市のプール施設が休館であった中、感染症対策を講じた上で運営していたことを評価していただいた。

自主事業については、実施が9月からとなり定員も減らして実施をしたことにより、全体の参加人数は減少したが、小学生のプール教室は例年通りキャンセル待ちが出るほどの人気だった。

文化教室は2事業のみの実施となってしまったが、北公園のフェアが中止となったためそこで実施予定だった事業を当センターで開催する等して、近隣施設との連携事業を進めることができた。今後も近隣施設と連携した事業を推進していく。

収支状況に関しては、営業日数の減少や入場制限に伴い、利用料金収入が予算より大幅に減少したが、光熱水費も同額程減少し、指定管理者制度導入施設協力金分もあったため剰余金が発生した。昨年度の剰余金については、指定管理料の精算後に確定した額によって修繕や備品更新等で利用者へ還元していきたいと考えている。

9 所管課意見

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設休所や感染症対策の影響により、自主事業の中止や利用定員の制限等、感染症対策を講じた上での運営となったが、コロナ禍における施設運営や自主事業の実施を工夫して取り組んだ点について評価したい。例えば混雑しがちな施設入口からプールへの動線についても、利用者の社会的距離を確保しつつ、混乱をきたさない整理・誘導を行い、利用者の安全・安心を確保しての運営がなされていた。満足度調査においても指定管理者のコロナ対応を評価する声が多く、一定の成果を上げたものと考えている。

緊急事態宣言による施設休所期間中には、通常時では容易に実施できないろ過砂交換修繕等を行い、休所期間を活用した施設の維持管理がなされた点を評価する。

応募が定員を上回る自主事業については、一般利用者との兼ね合いも考慮しつつ、開催日の追加や開催形態の工夫をすることで、可能な限り落選者が生じないよう工夫していただきたい。

近隣施設との連携事業については、北総合体育館や北公園と隣接している立地を生かし、今後もより充実した事業展開を期待する。

10 選考委員会意見

令和2年度は新型コロナウイルス感染症やそれに伴う緊急事態宣言の影響を受け、利用者数こそ大幅な減少が見られたが、利用者の満足度を一定程度得たことは評価する。コロナの収束時期は不明だが、コロナ禍ゆえに新たな市民ニーズも発生しており、既存の取組にとらわれないオンラインの自主事業なども検討していただきたい。

満足度調査においては、休所日数が増加した中でも、600を超える回答を得ている点を評価するが、今後は回答する利用者層のバランスも考慮して、より実態に沿った調査ができると望ましい。

LINE@の登録者も増加しているため、駐車場や施設の混雑情報を発信する等、機能をより一層充実し利用者の利便性向上に努めていただきたい。

総合評価（自動判定）

